

エコアクション21
環境経営レポート

2023年度版

対象期間 2023年1月～2023年12月

井筒管材株式会社

作成日 2024年1月31日

発行日 2024年1月31日

1.【事業活動の概要】

1-1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

井筒管材株式会社

代表取締役 村西 暢之

(2) 所在地

本社 石川県金沢市黒田二丁目15番地1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部 河二 瑞記 TEL:076-249-3151 FAX:076-249-3495

e-mail shop@kuutyou.com

担当者 総務部 河二 瑞記 TEL:076-249-3151 FAX:076-249-3495

e-mail shop@kuutyou.com

(4) 事業内容

設備工事業、設備工事用資材の販売

(5) 事業の規模(2023年度)

創業 昭和64年(1989年)

資本金 1000万円

年間売上高 約6.4億円

従業員 11名

延べ床面積 289㎡

車両 ガソリン車7台、軽油車3台、フォークリフト1台

(6) 事業年度 2023年1月～12月

1-2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 井筒管材株式会社

活動: 設備工事業、設備工事用資材の販売

1-3. 許可及び登録(建設業)

一般建設業許可

石川県

般-2 第14704号

2.【環境経営方針】

環境経営方針

井筒管材株式会社は『お客様に最高品質の商品とサービスを提供することを通じて満足していただき、業界の社会的地位を向上させ、人々の生活の創造に貢献する。』という理念を認識し、自然環境に配慮した事業活動により地域社会の発展に貢献する。

その為の方針として、事業活動にかかわる作業所と事務所内において、環境負荷低減、および環境改善を図るため、下記の方針を定め自主的及び継続的に取組みを展開する。

1. 建築工事に伴い発生する廃棄物の減量化とリサイクルの推進に取り組む。
2. 事業活動によるガソリン・灯油・LPG・電力から排出する二酸化炭素量の削減に取り組む。
3. お客様に環境保全活動を理解していただき、省エネ商品の販売促進を図る。
4. 事務所で使用する水道水の削減に取り組む。
5. 事務用用紙等の紙類の削減に取り組む。
6. 環境に関する法・条例等を遵守する。
7. 全従業員に環境経営方針の周知徹底を行う。
8. 環境経営レポートを公表し、地域住民とのコミュニケーションを図る。

制定 2018年1月1日

井筒管材株式会社

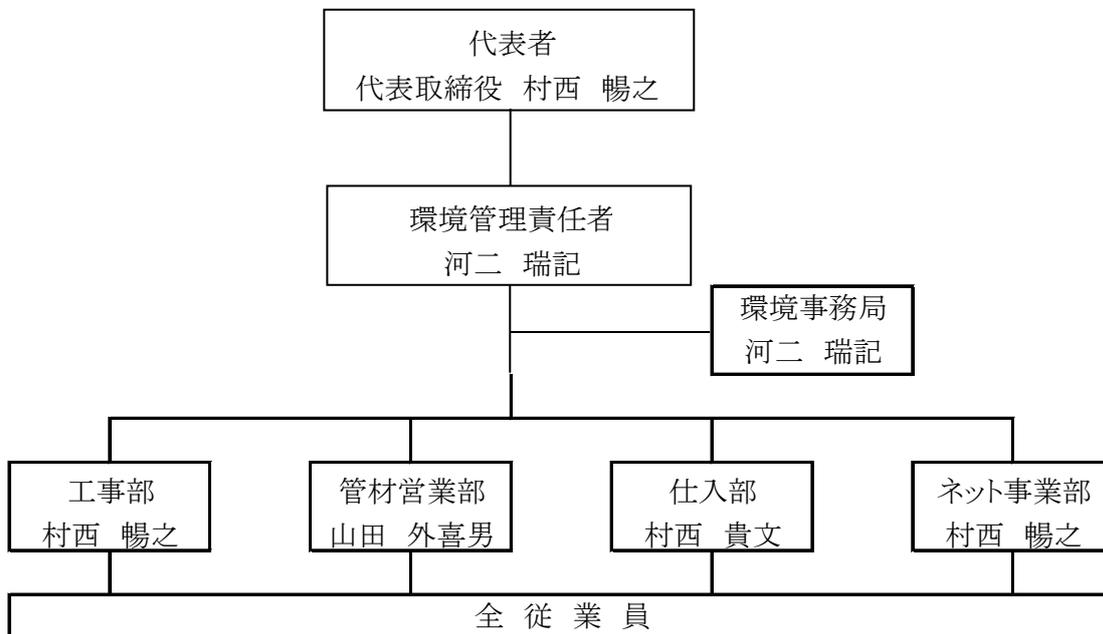
代表取締役 村西 暢之

3. 【組織図】

環境経営システム組織図

作成者：河二 瑞記

作成日：2024年1月1日



4. 【役割・責任・権限表】

環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none">環境経営に関する統括責任。環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者の準備環境管理責任者を任命。環境経営方針の策定、環境経営目標・環境活動計画書を承認。代表者による全体の評価と見直しを実施。環境経営レポートの承認。
環境管理責任者 環境事務局	<ul style="list-style-type: none">環境経営システムの構築、実施、管理。環境関連法規等取りまとめ表の作成及び遵守評価の実施。環境経営目標・環境経営計画の作成、取組み結果の代表者への報告。環境経営レポートの作成、公開。環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。環境関連の外部コミュニケーションの窓口。従業員に対する教育訓練の実施。
部門長	<ul style="list-style-type: none">自部門における環境経営方針の周知、環境経営システムの実施。自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の把握・報告。必要に応じて手順書作成及び運用管理。
全従業員	<ul style="list-style-type: none">環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5.【過去の実績と環境目標】

5-1. 過去の実績 過去3年間の実績は次の通りである。

	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度(今期)
売上高	百万円	664	633	548	648
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	61,543	63,968	55,829	41,923
産業廃棄物排出量	t	11	10	12	10
産業廃棄物再資源化率	%	25.0	17.7	63.4	74.8
水の使用量(本社)	m ³	154	161	146	129

※二酸化炭素排出量の算出において、購入電力の排出係数は0.487kg-CO₂/kWhを使用。

5-2. 中期の環境経営目標

- ・二酸化炭素排出量 2021年度を基準に2024年度までに売上高当たり3.0%削減する。
- ・廃棄物の再資源化率 2021年度を基準に2024年度までに3.0%向上する。
- ・水使用量(本社) 2021年度を基準に2024年度までに3.0%削減する。
- ・環境に配慮した製品の提案 2021年度を基準に、2024年度までに環境負荷低減を考慮した製品の販売を30件以上増加する。

今後3年間の環境経営目標は次の通りである

		単位	基準値	目標値			
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
売上高		百万円	633	650	670	690	
二酸化炭素排出量	電力使用量(本社)の低減	kg-CO ₂	8,691	8,604.0	8,518.0	8,432.8	
		kg-CO ₂ /百万円	13.7	13.2	12.7	12.2	
	ガソリン使用量の低減	kg-CO ₂	31,769	31,450.9	31,136.4	30,825.0	
		kg-CO ₂ /百万円	50.2	48.4	46.5	44.7	
	軽油使用量の低減	kg-CO ₂	16,502	16,337.4	16,174.0	16,012.3	
		kg-CO ₂ /百万円	26.1	25.1	24.1	23.2	
	灯油使用量の低減	kg-CO ₂	6,999	6,929.3	6,860.0	6,791.4	
		kg-CO ₂ /百万円	11.1	10.7	10.2	9.8	
	合計(LPG等含む)	kg-CO ₂	63,968	63,328.7	62,695.4	62,068.5	
		kg-CO ₂ /百万円	101.1	97.4	93.6	90.0	
可燃ごみ(一般廃棄物)の排出量		kg	890	881	872	864	
産業廃棄物の再資源化率		%	18	19	20	21	
水使用量(本社)の削減		m ³	161	159	158	156	
環境を配慮した製品(新冷媒エアコン)の販売		件	104	110	120	130	

※産業廃棄物の再資源化率とは産業廃棄物発生量に対して再資源化した量の事

5-3. 環境経営目標達成への取組及び取組結果

		取組内容	取組結果の評価	
			上半期	下半期
二酸化炭素排出量	電力使用量の低減	昼食時及び不使用時の電灯の消灯	○	○
		帰宅時及び不使用時OA機器電源OFF	△	△
		エアコンの設定温度(暖房:20℃冷房:28℃)を守る	○	△
	ガソリン使用量の低減	エコドライブの実施	△	△
		省エネ車の導入(買換時)	○	○
	軽油使用量の低減	エコドライブの実施	△	△
		配送方法の改善	○	○
	灯油使用量の低減	ストーブ設置環境の見直し	×	×
		省エネ設備の導入(買換時)	○	○
	一般廃棄物の排出量		分別回収し廃棄する	○
不要用紙を再利用及び両面コピー			○	○
産業廃棄物の再資源化率		分別・リサイクルの徹底	○	○
水使用量の削減		水洗い時水道水を出しっぱなしにしない	○	○
		節水意識を高める	○	○
再生製品の使用件数(事務部門)		環境ラベル認定品の優先的購入	△	△
再生製品の使用件数(工事部門)		循環資源の優先的購入	△	△
環境を配慮した製品の販売		省エネ製品の販売	○	○
地域貢献		毎月本社周りの一斉清掃を行う	△	△

5-4. 2023年度環境経営目標の達成状況

実績の評価日 令和6年1月22日

		単位	基準値	目標値	実績値(※1)	実績の評価(※2)
			2021年度実績	2023年度	2023年度	
売上高		百万円	633	670	648	○
二酸化炭素排出量	電力使用量(本社)の低減	kg-CO ₂	8691	8,518.0	7344	○
		kg-CO ₂ /百万円	13.7	12.7	11.3	○
	ガソリン使用量の低減	kg-CO ₂	31769	31,136.4	25074	○
		kg-CO ₂ /百万円	50.2	46.5	38.7	○
	軽油使用量の低減	kg-CO ₂	16502	16,174.0	3794	○
		kg-CO ₂ /百万円	26.1	24.1	5.9	○
	灯油使用量の低減	kg-CO ₂	6999	6,860.0	5691	○
		kg-CO ₂ /百万円	11.1	10.2	8.8	○
	合計(LPG含む)	kg-CO ₂	63968	62,695.4	41924	○
		kg-CO ₂ /百万円	101.1	93.6	64.7	○
一般廃棄物の排出量		kg	890	872.3	740	○
		kg/百万円	1.406	1.302	1.142	○
産業廃棄物の再資源化率		%	17.7	20	74.8	○
水使用量(本社)の削減		m ³	161	158	129	○
		m ³ /百万円	0.254	0.236	0.199	○
環境を配慮した製品の販売		件	104	120	153	○

※1:実績値は年度合計の値。○は達成、△は目標に対して10%未満、×は目標に対して10%以上

※2:実績の評価は目標値を基準に実施。

5-5. 取組み結果の評価

	達成状況	評価／是正策／指示 (次年度の取組み)	
二酸化炭素排出量	電力使用量(本社)の低減	絶対量も原単位も目標を達成することができた。	目標は達成したが、引き続き電気製品の省エネ更新を行っていく。
	ガソリン使用量の低減	絶対量も原単位も目標を達成することができた。	遠方への配達が減っている為、消費が抑えられている様に思われる。
	軽油使用量の低減	絶対量も原単位も目標を達成することができた。	トラックの使用割合が減っているため目標を大きく上回って達成している。
	灯油使用量の低減	絶対量も原単位も目標を達成することができた。	倉庫の暖房効果を上げる提案を行って、今後も目標達成に向けて実施していく。
	合計(LPG等含む)	絶対量も原単位も目標を達成することができた。	目標は達成しているが、管材卸売の売り上げが下がっているため、ネットショップの販売拡大などと合わせて売り上げを戻していきたい。
一般廃棄物の排出量	目標を達成することができた。	ペーパーレスがまだまだ浸透していないので、今後は紙の使用量削減を目標としたい。	
産業廃棄物の再資源化率	本年は空調機等の取替工事を多く受注し、再資源化可能な金属類の比率が大きかったため再資源化率が大きくなったと思われる。	昨年の課題であった段ボールのデータを確保できたので満足している。	
水使用量(本社)の削減	月次、累計ともにほぼ達成された。年間の目標も達成することができた。	節水意識の向上のための掲示等の取組みを既に行っており、継続的な成果が表れている。今後も引き続き取り組んでいく。	
環境を配慮した製品の販売	省エネに優れたエアコンやLED照明、給湯器などの販売	件数は目標を達成した、今後も引き続き販売ツールを確立し、営業の強化を図る。	

※建設副資材のグリーン化、事務用品、設備のグリーン購入を次年度も引き続き実施していく。

5-6. 次年度(2024年度)の取組

2024年度の取組目標を達成するため、基本的には2023年度環境経営目標への取り組み内容を継続する。

		取 組 内 容	担 当
二 酸 化 炭 素 排 出 量	電力使用量の低減	昼食時及び不使用時の電灯の消灯	事務局
		帰宅時及び不使用時OA機器電源OFF	事務局
		エアコンの設定温度(暖房;20℃冷房;28℃)を守る	事務局
	ガソリン使用量の低減	エコドライブの実施	工事部・管材営業部
		省エネ車の導入(買換時)	工事部・管材営業部
	軽油使用量の低減	エコドライブの実施	工事部・管材営業部
		配送方法の改善	管材営業部
	灯油使用量の低減	ストーブ設置環境の見直し	事務局
		省エネ型暖房器具の導入(買換時)	事務局
一般廃棄物の排出量		分別を徹底する。	事務局
		不要用紙を再利用及び両面コピー	事務局
産業廃棄物の再資源化率		分別・リサイクルの徹底	事務局
水使用量の削減		水洗い時水道水を出しっぱなしにしない	事務局
		節水表示を行う。	事務局
再生製品の使用件数(事務部門)		環境ラベル認定品の優先的購入	事務局
再生製品の使用件数(工事部門)		VE提案の実施	工事部
		循環資源の優先的購入	工事部
環境を配慮した製品の販売		省エネ製品の販売	管材営業部
地域貢献		毎月本社周りの一斉清掃を行う	全員

6.【環境関連法規制の一覧と順守状況】

				承認	作成
法律名	順守事項	確認事項	確認結果	確認者	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	マニフェスト	帳簿の作成	○	河二	12/4
		5年間保存			
		管理表に関する報告書の提出(金沢市6/30まで)前年4/1から3/31まで(第12条3第7項)	○	河二	12/4
	契約の締結	契約書の作成	○	河二	12/4
建設リサイクル法	対象工事(80m2以上の解体等)は分別(コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト)、再資源化 請負物件に関する届出	分別解体届出書の提出 工事開始7日前まで 都道府県知事・市町村長	該当工事なし		
道路交通法	車両の登録・車検の受験 法定点検 過積載禁止	車検実施確認 点検記録確認	該当工事なし		
騒音規制法	指定区域の確認 特定建設作業実施届の提出 基準の順守	現場毎に指定区域該当の有無確認 工事開始7日前までに市町村長へ提出 基準を超えないこと	該当なし		
振動規制法	指定区域の確認 特定建設作業実施届の提出 基準の順守	現場毎に指定区域該当の有無確認 工事開始7日前までに市町村長へ提出 基準を超えないこと	該当なし		
水質汚濁防止法	排水基準(石川県)以下であること(水質汚濁防止のしおり)	公共用水域への排出水の水質確認	該当なし		
下水道法	特定事業場	特定施設の有無 特定事業場からの下水の排除の制限に係わる水質基準	該当施設無し		
労働安全衛生法 (石綿障害予防規則)	建設工事計画書の提出	工事開始14日前まで	○	河二	12/4
	建築物解体等作業届書	工事開始までに労働基準監督署に提出	○	河二	12/4
建築基準法 (シックハウス)	建築確認申請	建築主事又は指定確認検査機関に申請	該当工事なし		
	確認済証の交付	交付を受けてから工事着手			
	基準の順守	基準に適合すること			
金沢市 景観条例	指定区域の確認 (景観計画区域、眺望景観保全区域など)	現場毎に指定区域該当の有無確認	該当工事なし		
	届出の提出	規則で定める事項を市長に届け出			
	基準の順守	基準に適合すること			
石川県・金沢市からの要請	災害時事業者登録	ブルーシート・土嚢袋の確保	○	河二	12/4
フロン排出抑制法	3か月ごとの点検	機器の点検(簡易点検、専門点検の実施) 廃棄時に適切かつ確実な回収処置を行う	○	河二	12/4

環境関連法規制等に関する違反、訴訟等は過去3年間ありません。

また、環境関連法規制等に関して、関係機関等からの指摘、地域住民からの訴訟もありません。

順守確認日は2023年12月4日です

7. 【代表者による全体の評価と見直し・指示】

代表者による評価・見直しの記録				検印	検印	作成
見直し実施者	代表取締役	出席者	村西暢、河二、村西貴、山田	村西		河二
見直し実施日	令和6年1月24日	会場	事務所			
確認・評価した資料						
書類	確認	録類		確認		
環境経営方針	✓	環境への負荷の自己チェック		✓		
環境経営目標	✓	環境への取組の自己チェック		✓		
環境経営計画	✓	環境関連法規等の遵守状況のチェック実施状況		✓		
環境関連法規のまとめ	✓	外部からの苦情・情報の記録		✓		
実施体制	✓	環境上の緊急事態の訓練結果		✓		
緊急事態対応手順書	✓	環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その結果		✓		
環境経営レポート	✓	不適合是正・予防報告書		✓		
取組状況全体の評価						
システムが有効に運用されているか				○適		不適
取組が適切におこなわれているか(要求事項を満足しているか)				○適		不適
見直しの必要性						
環境経営方針	あり	○なし	実施体制	あり	○なし	
環境経営目標	あり	○なし	その他	あり	○なし	
環境経営計画	あり	○なし		あり	○なし	
実施体制	あり	○なし		あり	○なし	
見直しの具体的内容						
2021年度を基準に3年間の数値を基準とし目標値を設定したが、昨年は金沢市の工事を						
例年よりも多く受注できたため売り上げも回復し、多くの項目で目標を達成できた。						
今後は引き続き新たな省エネ施策を検討しながら環境配慮活動に取り組み、社員への啓発も						
さらに強化したい。それにより、環境配慮活動が業務の効率化、経費削減にも繋がるように						
PDCAサイクルを回し改善に取り組んでいきたい。						
そのための取り組みとして						
省エネ機器の販売、設置のさらなる促進						
省エネ運転の徹底に努めること						
				2024年1月24日 代表取締役 村西暢之		

8. 【教育訓練の実施】

教育訓練実施項目

①環境経営方針及び環境経営目標の周知徹底

環境経営目標の掲示

手が空いた者へ順番に発表



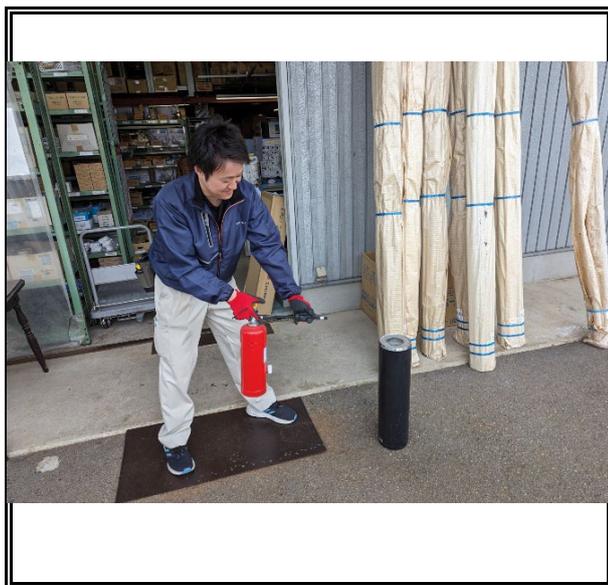
周知徹底教育時の会議(写真)

実施日 2023年5月20日

参加者 河二、村西

②緊急事態の対応に関する訓練

石油ストーブから周囲への引火を想定した訓練



緊急事態の教育訓練を実施(写真)

実施日 2023年5月22日

参加者 河二、山田、高橋

③エコドライブの周知徹底



実施日 2023年5月24日

参加者 河二、高橋

エコドライブ教育(写真)